



Interface to the Future
- Solution by Smart Connectivity -

ザインエレクトロニクス株式会社 2024年12月期 通期決算説明資料

2025.02.05

中期経営戦略 2022-24

5G&Beyond-NE

TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2024年12月期通期業績概要
- 新中期経営戦略「**Innovate100**」
- 当社グループ技術のご紹介

中期経営戦略 2022-24

5G&Beyond-NE

TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2024年12月期通期業績概要
- 新中期経営戦略「Innovate100」
- 当社グループ技術のご紹介

中期経営戦略 2022-24

5G&Beyond-NE

会社概要

Interface to the Future “高速情報伝送の世界標準技術等、独自の価値を世界市場に提供”
- Solution by Smart Connectivity -

- 社名 ザインエレクトロニクス株式会社
(英名: THine Electronics, Inc.)
- 代表者 代表取締役会長 飯塚 哲哉
代表取締役社長 南 洋一郎
- 創業理念 「人資豊燃」
- 資本金 11億7,526万円
- 創業 1991年5月 (株)ザイン・マイクロシステム研究所)
- 株式公開 2001年8月 東京証券取引所 (スタンダード)
- 事業内容 ミックスドシグナルLSIの設計開発・製造・販売
AI・IoTソリューション開発・提供、
AI等データサーバー製品の企画・開発・製造・販売
- 従業員数 130名 (2024年12月末日現在、連結ベース)
※ 『健康経営優良法人2024』 認定



事業拠点

韓国 - Korea -



ザインエレクトロニクス 코리아
(THine Electronics Korea, Inc.)
韓国ソウル市 2010年3月設立

中国 - China -

賽恩電子香港股份有限公司
(THine Electronics Hong Kong, Co., Ltd.)
2012年11月設立
前海赛恩电子(深圳)有限公司
(THine Electronics Shenzhen, Co., Ltd.)
2013年5月設立
同社上海分公司
2013年10月設立



LSI

東京本社 - Tokyo -

東京都千代田区
1991年5月 創業

米国 - United States -

THine Solutions, Inc.
アメリカ合衆国 カリフォルニア州
2018年2月設立

AIOT

キャセイ・トライテック(株)
- Yokohama -



Cathay Tri-Tech, Inc. ※2025年7月に「ザイン・モバイルテック(株)」に名称変更予定
神奈川県横浜市
2018年12月連結子会社化

台湾 - Taiwan -



哉英電子股份有限公司
(THine Electronics Taiwan, Inc.)
台湾台北市 2000年9月設立

NEW!

ザイン・ハイパーデータ(株) **Server**
- Yokohama -

THine HyperData, Inc.
神奈川県横浜市
2024年6月設立

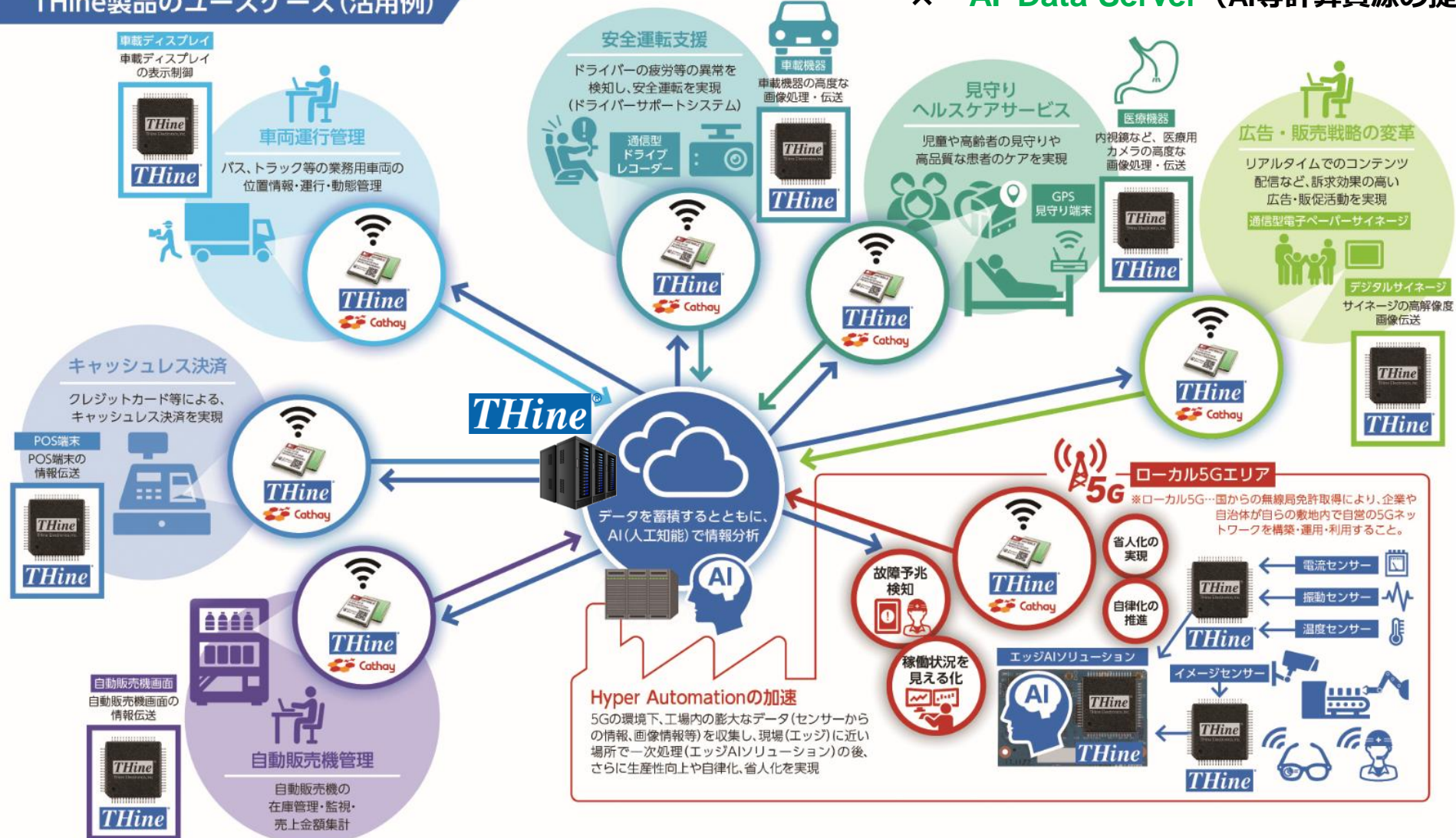
事業領域

LSI (高速情報伝送のスマート化)

× AIOT (IoTソリューションのスマート化)

× AI・Data Server (AI等計算資源の提供)

THine製品のユースケース (活用例)



事業領域

製品・ソリューション

THine
LSI
事業

<高速インターフェースLSI>

V-by-One® HS plus

V-by-One® HS

LVDS

Serial Transceiver IOHA:B

光半導体 (VCSELドライバ、TIA等)

<カメラソリューション>

Image Signal Processor

Camera Development Kit



AIOT
事業



THine
HyperData

<通信モジュール>

5G/LTE/NB-IoT

<AI・IoTソリューション>

IoTゲートウェイルータ

AI/IoTソリューション開発



<AIサーバー>

NVIDIA H100 GPU搭載AIサーバー

<データサーバー>

General Server

Smart NIC/Switch



適用アプリケーション例

- ・ 事務機器（複合機（MFP）等）、アミューズメント機器
- ・ カメラ（車載カメラ、セキュリティカメラ、AR/VR、認証用カメラ、手術用カメラなど高精細カメラ）
- ・ 8K / 4Kなど高解像度映像機器、ゲーミング機器
- ・ ドライブレコーダ、EVなどの車載表示装置
- ・ モバイル・PC、シングルボードコンピュータ
- ・ 半導体・液晶ディスプレイ等検査装置
- ・ AI光コンピューティング（データセンター内の光ネットワーク）

<AI・IoTソリューション事業>

- ・ 通信機能付きドライブレコーダー
- ・ AED（自動体外除細動器）遠隔監視
- ・ IPトランシーバー
- ・ 自動販売機、エレベーター遠隔監視装置、決済端末
- ・ 見守りGPSトラッカー、地域見守りネットワークシステム
- ・ スマートメーター、IoTスマートモジュール
- ・ AI顔認証型体温検知システム、IoT温度監視システム

<サーバー事業>

- ・ ODM/OEMにより日本企業・AI等研究機関にAIサーバー・データサーバーを提供

TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2024年12月期通期業績概要
- 新中期経営戦略「Innovate100」
- 当社グループ技術のご紹介

中期経営戦略 2022-24

5G&Beyond-NE

'24年12月期通期業績のポイント①

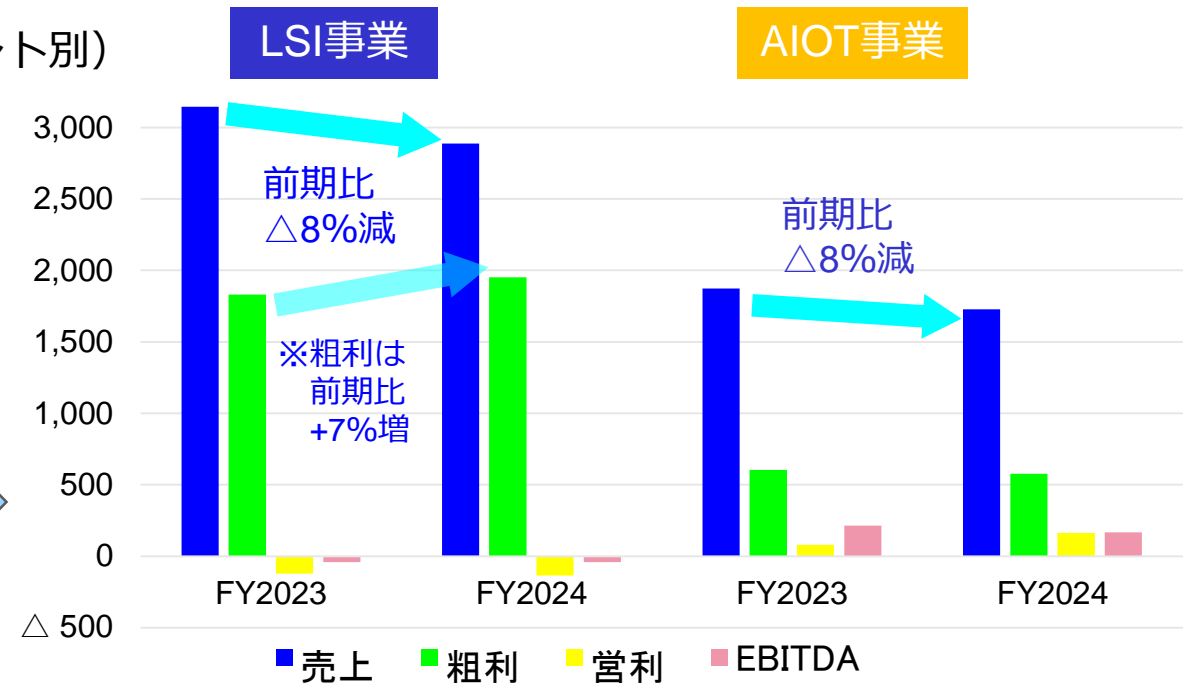
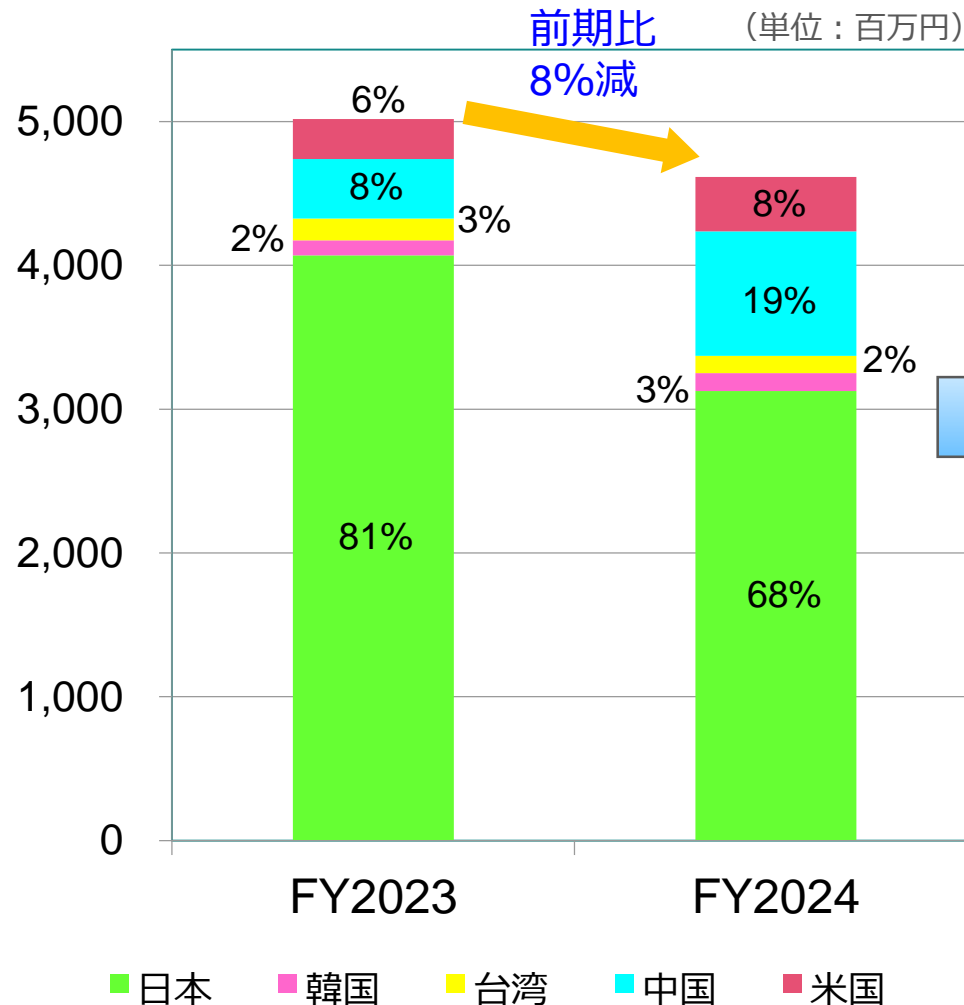
▶ 連結業績概要（2024年12月期）

（百万円）

	2024年12月期			2023年12月期	
		構成比	前期比		構成比
売上高	4,614	100.0	91.9	5,018	100.0
売上総利益	2,528	54.8	103.8	2,435	48.5
販売管理費	2,500	54.2	101.0	2,476	49.3
（うち研究開発費）	1,154	25.0	104.8	1,102	22.0
営業利益	28	0.6	—	△40	△0.8
（EBITDA）	125	2.7	72.2	173	3.5
経常利益	264	5.7	368.8	71	1.4
参）経常利益（為替差損益を除く）	32	0.7	—	△32	△0.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	339	7.4	—	△69	△1.4

'24年12月期通期業績のポイント②

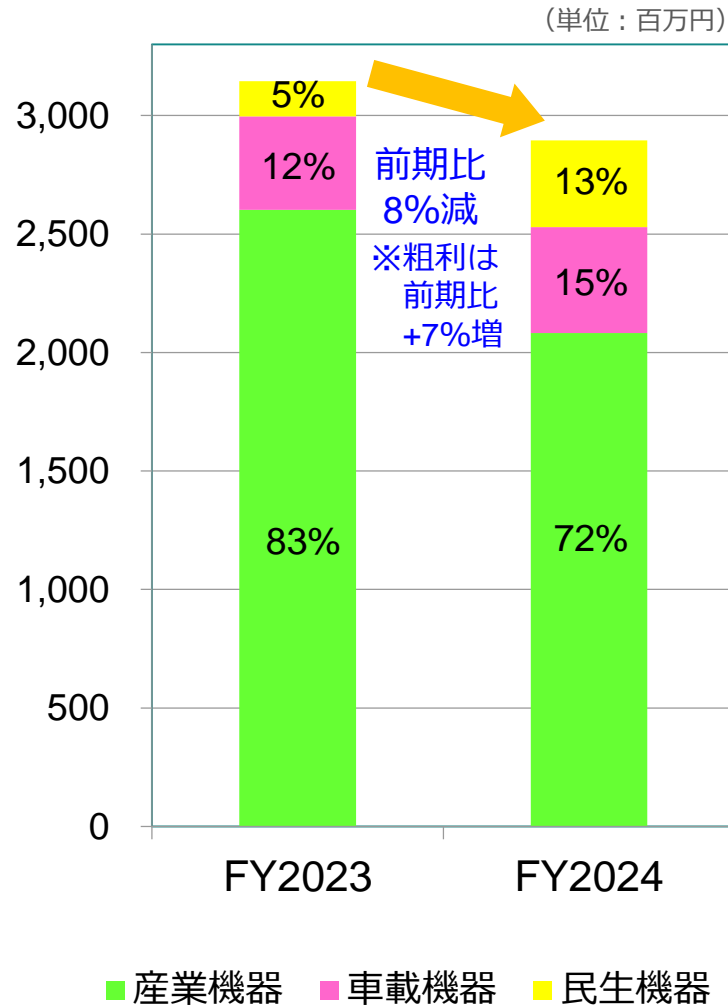
▶ 2024年12月期通期売上分析 (地域別・セグメント別)



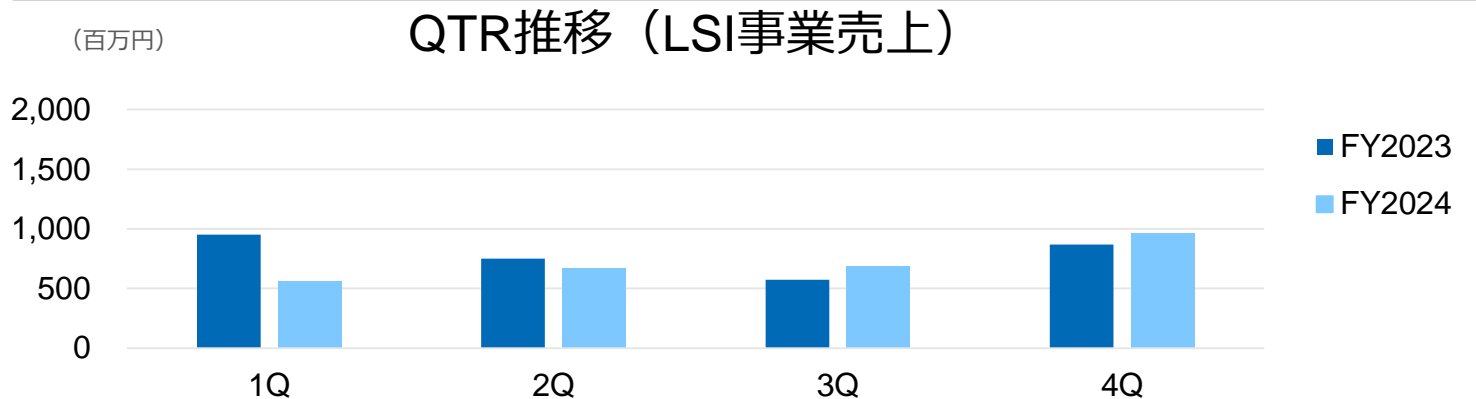
- ▶ LSIは中国・米国等海外市場で回復基調で粗利増加に貢献。国内市場はOA向けは一部改善もアミューズ向けは依然在庫調整の影響が継続し売上は前期比減収も粗利率が大きく改善し前期比増益(+7%)。
- ▶ AIOTは自販機・エレベータ・AED向け等の通信モジュール製品等の出荷は堅調もドライブレコーダ向け顧客所要大幅減およびスマートメータ案件等の後倒し等により前期比減収(△8%)。
- ▶ AIOT事業は前期でのれん償却を完了しており、事業黒字化。

'24年12月期通期業績のポイント③

▶ LSI事業売上分析（アプリケーション・市場別）

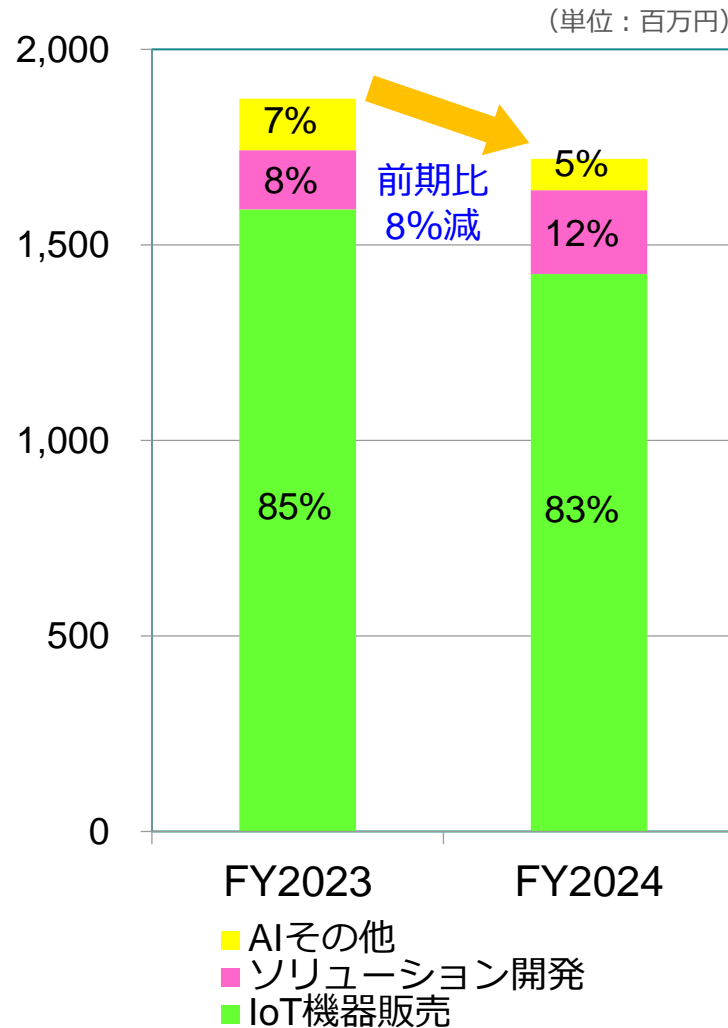


要因分析	
産機	売上全体の72%。OA機器向けは改善傾向、アミューズメント機器向けは依然として在庫調整等の影響が継続、産機全体で前期比減(△20%)。OA機器向け(△6%)・アミューズメント機器向け(△50%)・その他産機向け(+14%)。
車載	売上全体の15%。前期比増(14%)。EV向け新製品拡販開始。中国・米国市場向けは需要回復傾向で前期比大幅増加、粗利率改善にも貢献。
民生	売上全体の13%。前期より提供開始した4K/8Kテレビ等ディスプレイ向け情報伝送技術の新標準V-by-One®HS plusの提供が順調に進行し前期比大幅増(+146%)、粗利率改善に大きく貢献。

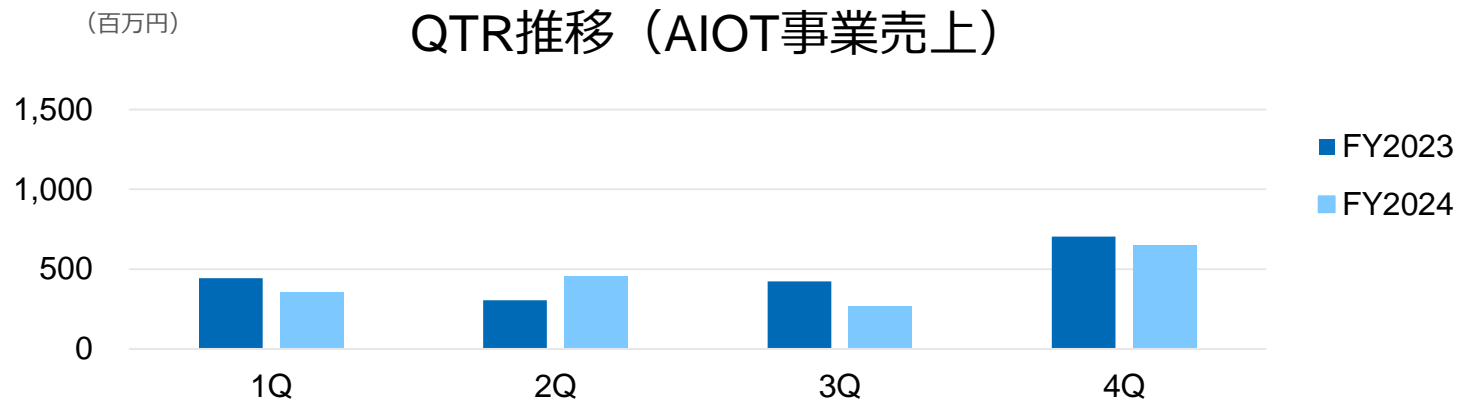


'24年12月期通期業績のポイント④

▶ AIOT事業売上分析（売上区分別）



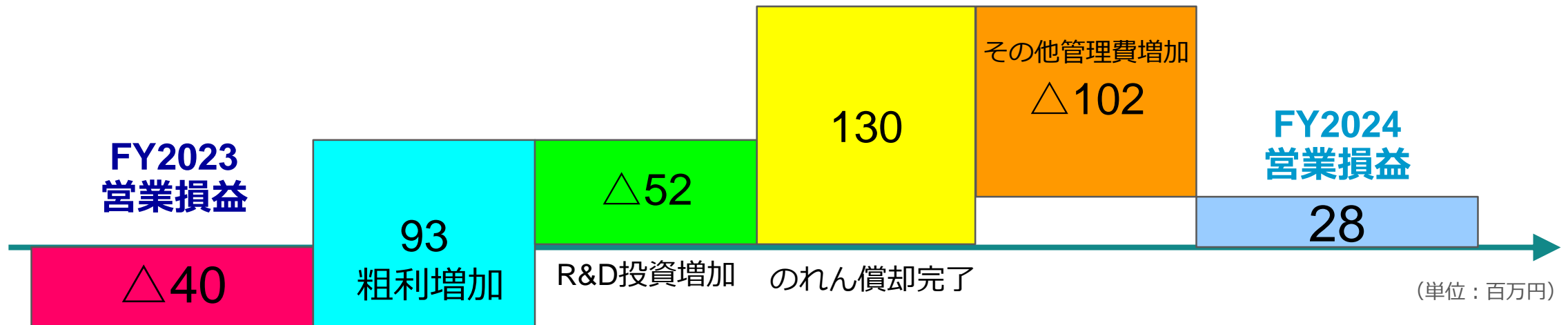
要因分析	
IoT機器	売上全体の83%を占める。自販機・エレベータ遠隔監視・自販機決済端末・AED向け等の製品出荷は堅調も、ドライブレコーダ用途向けでの顧客需要の大幅減少およびスマートメーター案件等の後倒し等により前期比減少(△10%)。
ソリューション開発	OEMルーター開発販売、監視カメラ組込用OEMルーター開発等、ゲートアクセスコントローラ端末開発等を実施、前期比増加(+40%)。
その他	前期減少(△39%)、新設のサーバー事業子会社(ザイン・ハイパーデータ(株)、2024年6月設立)によるサーバービジネスの立ち上げに注力。



'24年12月期通期業績のポイント⑤

▶ 営業損益変動内訳

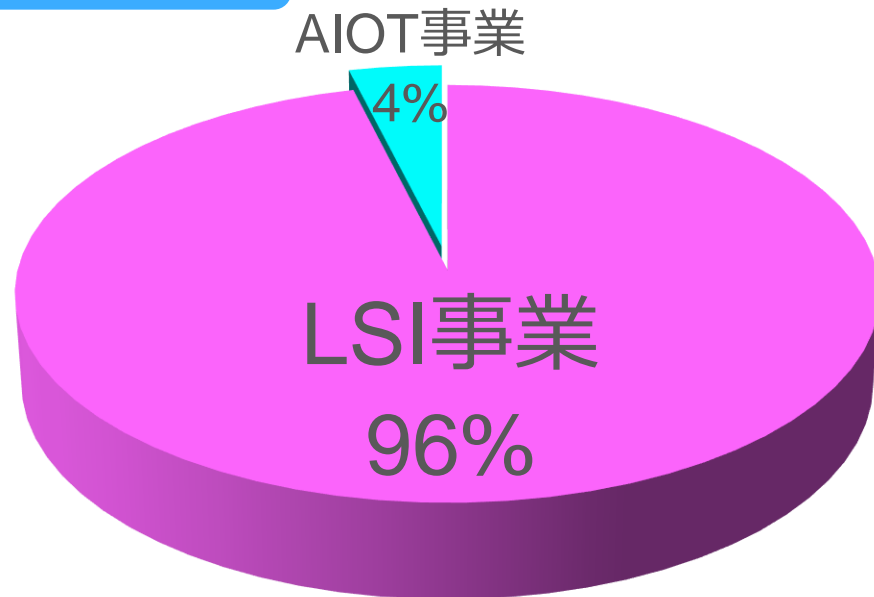
- 前期比減収も、粗利率改善（49%→55%）し、粗利額は前期比増加（前期比+4%）。
- R&D投資、前期比増加（同+5%）、新製品開発に積極的に投資実施。
EVパネルおよびカメラ向けV-by-One®HS新製品開発、新規電源製品開発、世界初光半導体(AI光コンピューティング向け)技術開発、エッジAI処理用モジュール製品開発、通話機能付きGW新製品開発、スマートIoTルーター等にトータルで¥1,154Mを効率的に投資。
※ 総務省より受託した5Gを遥かに超える高速無線通信技術開発は当期も継続（費用は一部総務省負担）。
- AIOT事業取得に係るのれん償却は前期(2023年)で完了。



'24年12月期通期業績のポイント⑥

- ▶ 研究開発の状況
- 今期は中期経営戦略『5G&Beyond-NE』戦略5ゴールに向けて総額**12億20百万円**（前期比+11%）の投資を計画

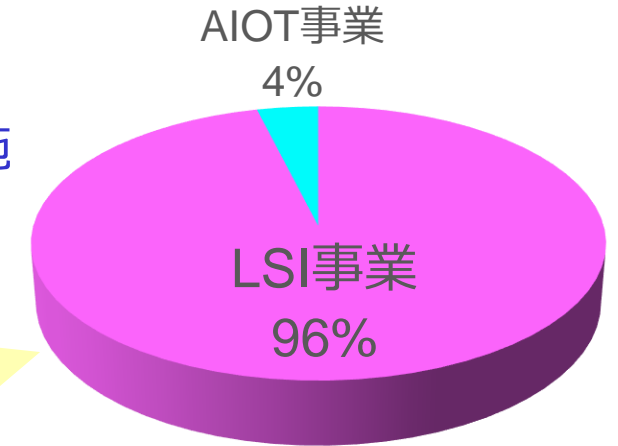
'24年計画



FY2024実績

- **11億54百万円**の投資実施

計画比 95%
前期比 105%



『5G&Beyond-NE』の目標達成に向けた重要技術開発

- EVパネル・カメラ向け等V-by-One[®]HS製品
- 新規電源製品開発
- 世界初光半導体(AI光コンピューティング向け)技術開発
- エッジAI処理用モジュール開発
- 音声通話機能付きゲートウェイ製品開発
- スマートIoTルーター開発
- スマートモジュール活用ソリューション開発
- 1000Gbpsを見据えた (beyond 5G) 無線通信技術開発、等

'24年12月期通期業績のポイント⑦

▶ 資産・負債及び純資産の概要（2024年12月末日）

（百万円）

	資 産			負債純資産	
	'24末	'23末		'24末	'23末
現預金	7,306	7,377	買掛金	289	270
売掛金	1,144	937	その他流動負債	306	401
棚卸資産	842	846	固定負債	141	137
その他流動資産	264	303	株主資本	9,309	9,139
有形固定資産	161	212	その他包括利益累計額	79	73
無形固定資産	55	69	新株予約権	73	150
投資その他	554	504	非支配株主持分	130	77
資産合計	10,329	10,250	負債純資産合計	10,329	10,250

- ▶ '24年末保有の米ドル建現預金残高：約US\$10M
- ▶ '18年のキャセイ社（AIOT事業）取得に伴う「のれん（無形固定資産）」は2023年度で全額償却完了
- ▶ ザイン・ハイパーデータ(株)設立（2024年6月、資本金¥100M）

‘24年12月期通期業績のポイント⑧

▶ キャッシュフローの概要（2024年12月期） （百万円）

	FY2024	FY2023
営業CF	△73	402
投資CF	15	△148
財務CF	△161	△285
換算差額	148	107
期首残高	7,377	7,302
期末残高	7,306	7,377

- ▶ 税金等調整前純利益、売上債権増加、等
- ▶ 投資有価証券売却、固定資産取得、等
- ▶ 前期配当金支払い、自己株式取得、
ストックオプション行使、
ザイン・ハイパーデータ(株)設立、等
- ▶ ¥142→¥158（2024年末）

TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2024年12月期通期業績概要
- 新中期経営戦略「**Innovate100**」
- 当社グループ技術のご紹介

中期経営戦略 2025-27

Innovate100

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 企業価値の向上に向けて

◆ 新中期経営戦略「Innovate100」を策定し、目標年度2027年12月期において連結売上高100億円超を目指します。

5G&Beyond-NE
(2022-2024)

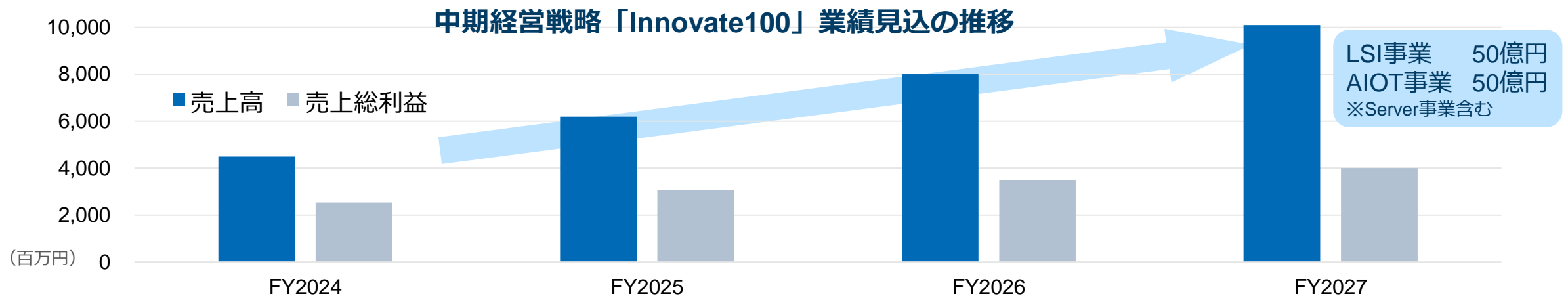
Innovate100

(2025-2027)

2027年12月期連結売上高 100億円以上

上記目標達成時
ROIC (投下資本利益率) 10%以上達成見込

※ROIC = (営業利益 × (1 - 実効税率)) ÷ (株主資本 + 有利子負債)



新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 新中期経営戦略「Innovate100」の概要

◆ 基本戦略

THineグループ3事業（LSI/AIOT/Server）を通じてAI社会実装の加速と共に、光半導体等を通じてデータセンター消費電力の拡大抑制に貢献していく方針です。

また、コラボレーションやアライアンスを一層重視し、M&Aやパートナー企業とのwin-win協業の機会をさらに強力に模索して参ります。

◆ 具体的な取り組み

- AIプロセッサ搭載ソリューションビジネス立上げ
- DX-IoT向け配線集約用半導体の大規模適用
- EdgeAI-Link[®]によるエッジAIソリューション等のDX支援事業
- 光半導体（独自のDSPレス技術、超低消費電力、超低レイテンシー）技術開発
- AIセンシングの起点となるスマートメーターに向けた無線通信技術展開
- 車載機器・産業機器における機器とクラウド連携する無線通信ソリューションの適用加速
- 通信キャリア向けビジネス展開
- AIサーバー等、サーバー事業の拡販加速

◆ グループ3事業間のシナジー強化

当社グループのAIOT中核企業である「キャセイ・トライテック株式会社」を2025年7月1日付で
[「ザイン・モバイルテック株式会社」](#)に社名変更し、ザイン（THine）ブランドのシナジー効果向上



新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 2025年12月期通期業績見通し

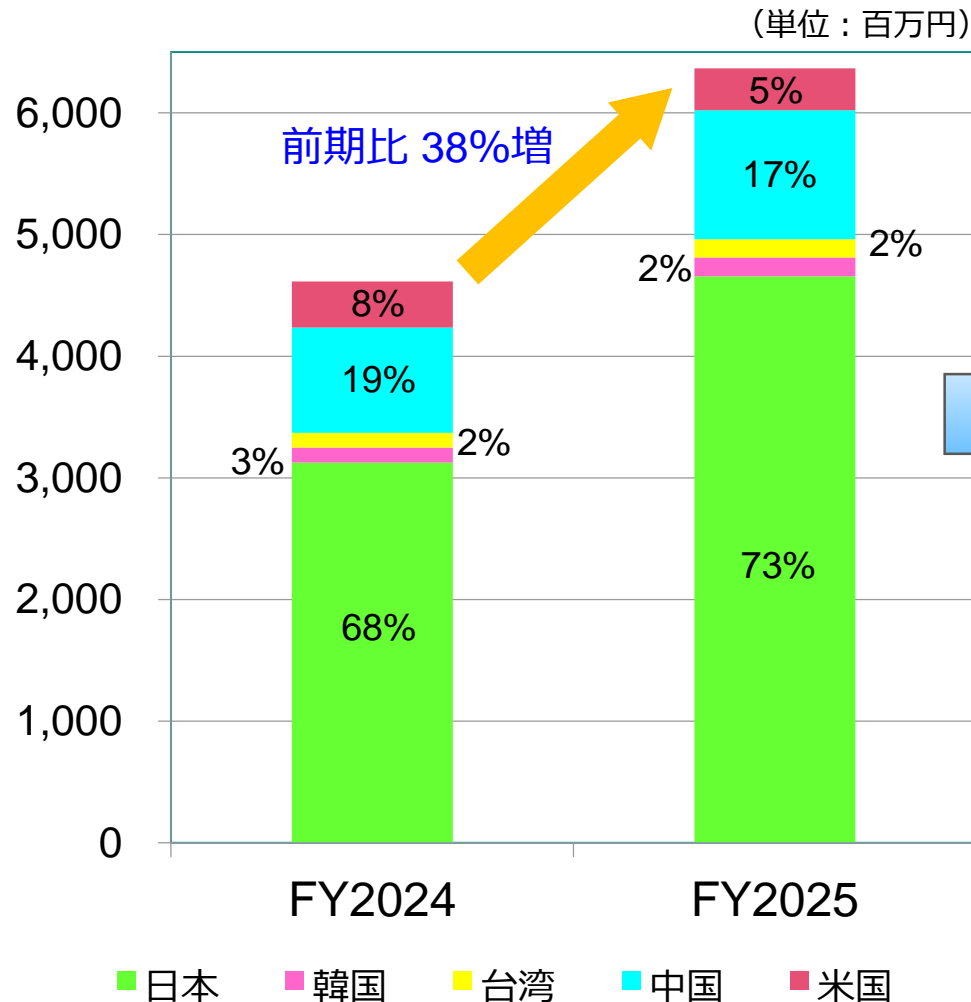
当期より新たな中期経営戦略『Innovate100』をスタートいたします。目標年次（2027年度）において売上高100億超の実現を目指します。

(百万円)

	2025年度見通し			2024年実績		2023年実績	
		構成比	前期比		構成比		構成比
売上高	6,366	100.0	138.0	4,614	100.0	5,018	100.0
売上総利益	3,150	49.5	124.6	2,528	54.8	2,435	48.5
販売管理費	2,768	43.5	110.7	2,500	54.2	2,476	49.3
(うち研究開発費)	1,365	21.5	118.3	1,154	25.0	1,102	22.0
営業利益	381	6.0	1360.5	28	0.6	△40	△0.8
EBITDA	455	7.2	363.4	125	2.7	173	3.5
経常利益	360	5.7	136.2	264	5.7	71	1.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	301	4.7	88.9	339	7.4	△69	△1.4

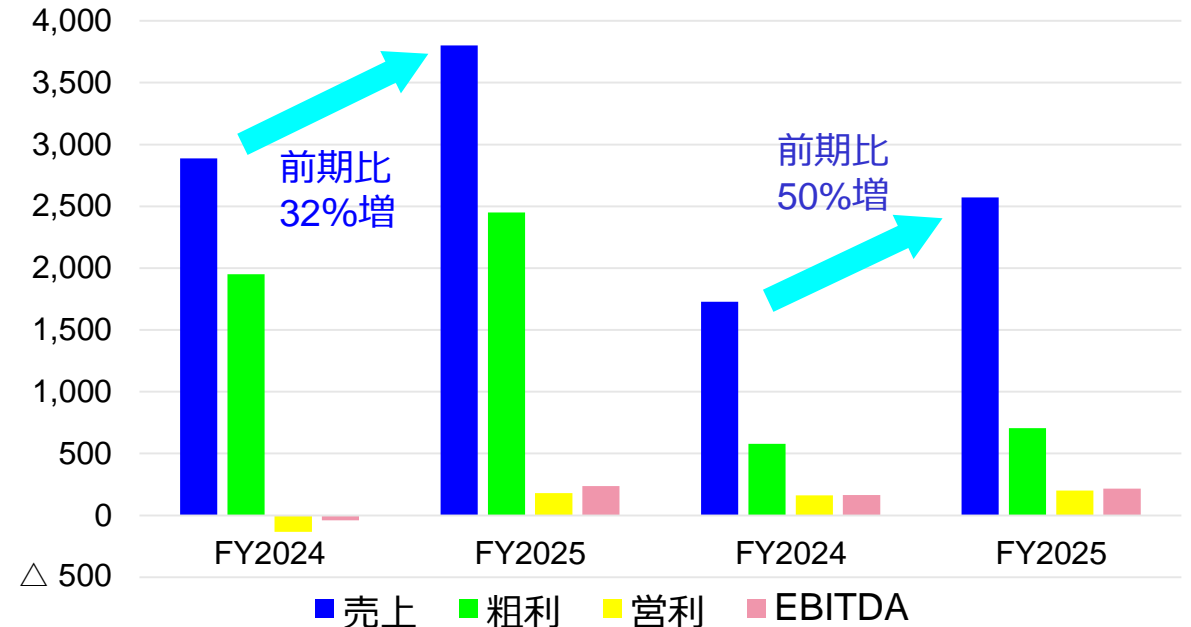
新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

▶ 2025年12月期通期業績見通し(地域別・セグメント別)



LSI事業

AIOT事業



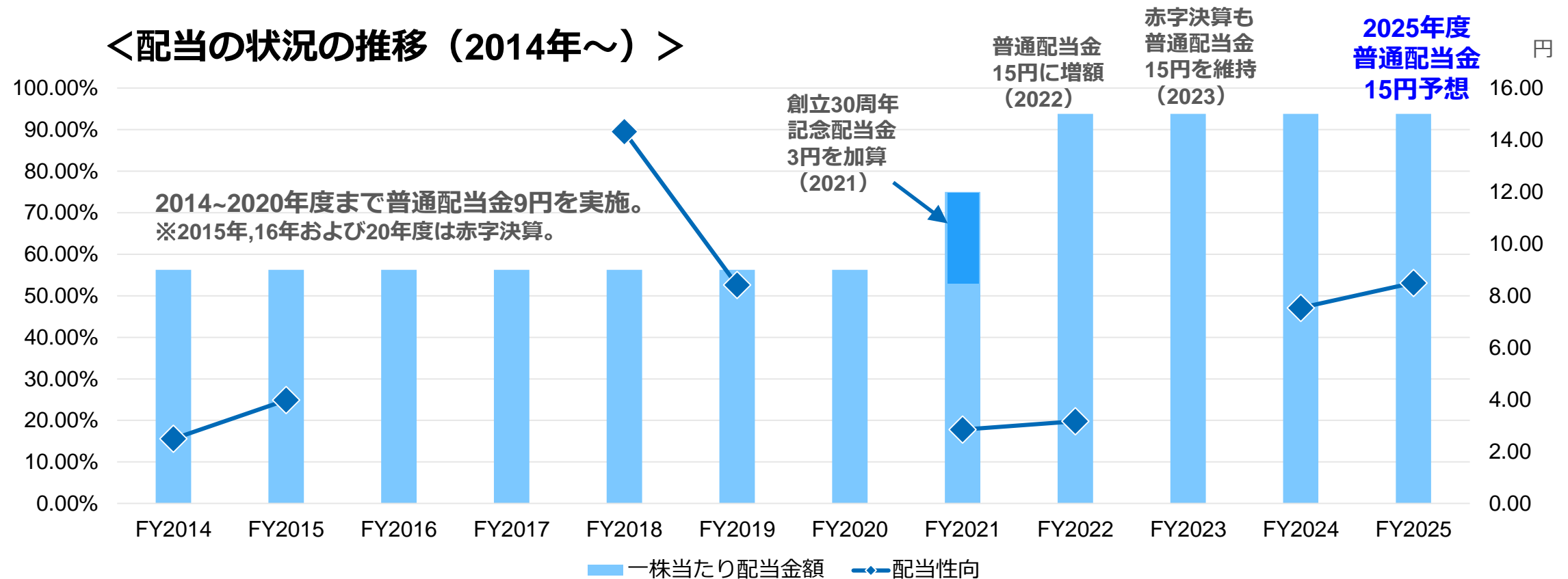
- ▶ LSI事業はOA機器市場向けの回復および中国・米国を中心とした海外市場でのさらなる成長により前期比32%増加を目指します。
- ▶ AIOT事業はドライブレコーダ・自販機・エレベータ・AED等向け等に加え、スマートメータ案件の本格立上げに注力します。またサーバー事業の立ち上げを加速させ、前期比で50%の増加を目指します。

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 株主の皆様への還元方針

新中期経営戦略「Innovate100」の実現に向けて取り組み、今後の成長を踏まえて株主の皆様への還元を実施して参ります。2024年度については従来予想通り1株当たり15円の配当を実施致します。また、2025年12月期についても同様に配当予想と致します。

<配当の状況の推移 (2014年～)>



TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2024年12月期通期業績概要
- 新中期経営戦略「Innovate100」
- 当社グループ技術のご紹介

中期経営戦略 2025-27

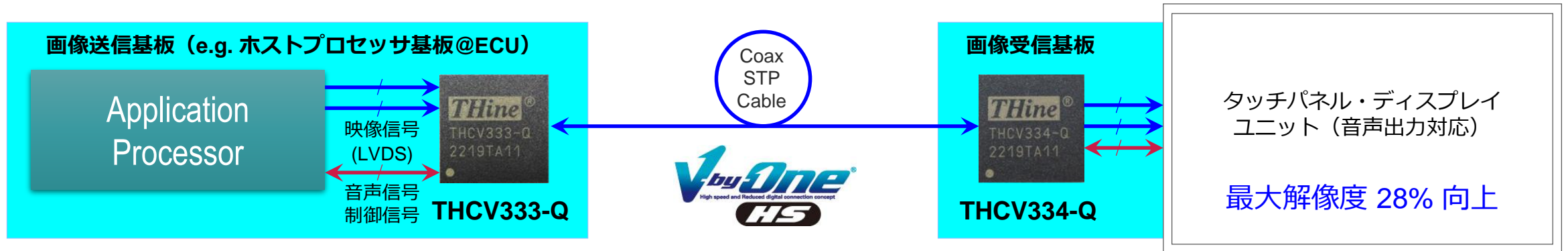
Innovate100

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 車室空間のユーザー体験を拡げる：タッチパネル向け省配線ソリューション

車載・産機組み込みパネル向けV-by-One®HS技術応用 新製品出荷開始

- ▶ フルHD60fps超の映像・タッチパネル制御・音声信号を1チップのみで送受信可能
- ▶ 車載業界における従来他社代表製品と比べて最大データ伝送量およそ28%向上 Open LDI(LVDS)対応SerDesとして業界最速クラス



① 車載用組込タッチパネル

- ▶ インフォメーションディスプレイ
- ▶ リアシートエンターテイメント
- ▶ カーナビゲーション
- ▶ ディスプレイオーディオ



② 産業用組込タッチパネル

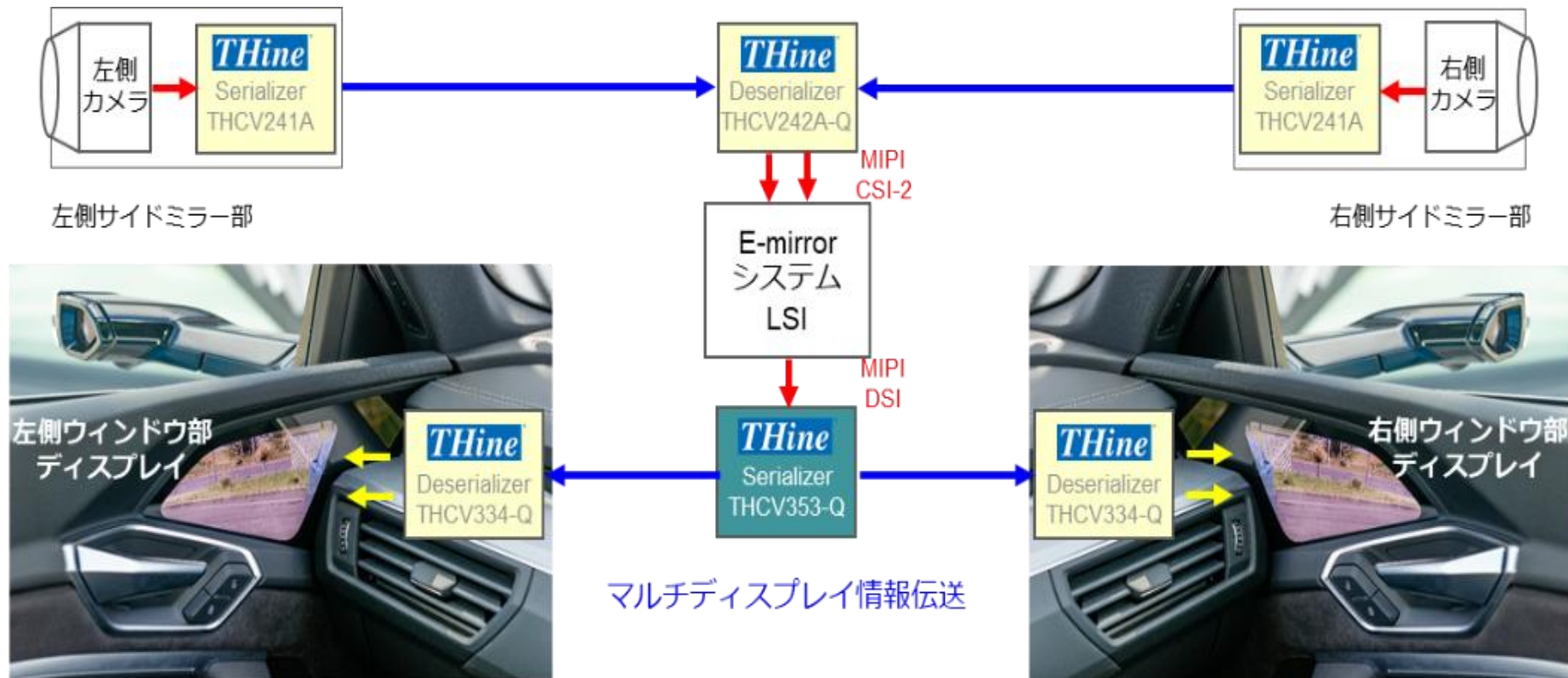
- ▶ HMI/プログラマブル表示機
- ▶ タッチパネル自動販売機
- ▶ エレベータ筐体内パネル
- ▶ 交通系モニタ

新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

▶ 車室空間のユーザー体験を拡げる：マルチディスプレイ向けソリューション

車載・産機組み込みパネル向けV-by-One®HS技術応用 新製品出荷開始

- ▶ 簡素な車載システムにより、左右サイドミラー部のカメラ映像を左右ウィンドウ部のディスプレイに出力可
- ▶ 優れたタッチパネル応答性能を実現、音声データも動画像データと合わせて同じケーブルで伝送可



新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 医療用カメラの革新に貢献

医療用カメラ対応ソリューションの拡販

- ▶ 高解像度 4K内視鏡カメラの実現に貢献
- ▶ 超小型V-by-One® HS製品によりシステム操作部までの数メートルにわたりケーブル1本で伝送可能
- ▶ 画像処理用LSI併用も可能
- ▶ 顧客側AI機械学習により、フルHD内視鏡カメラ、ハイビジョン内視鏡カメラに比較して、早期癌の識別に貢献

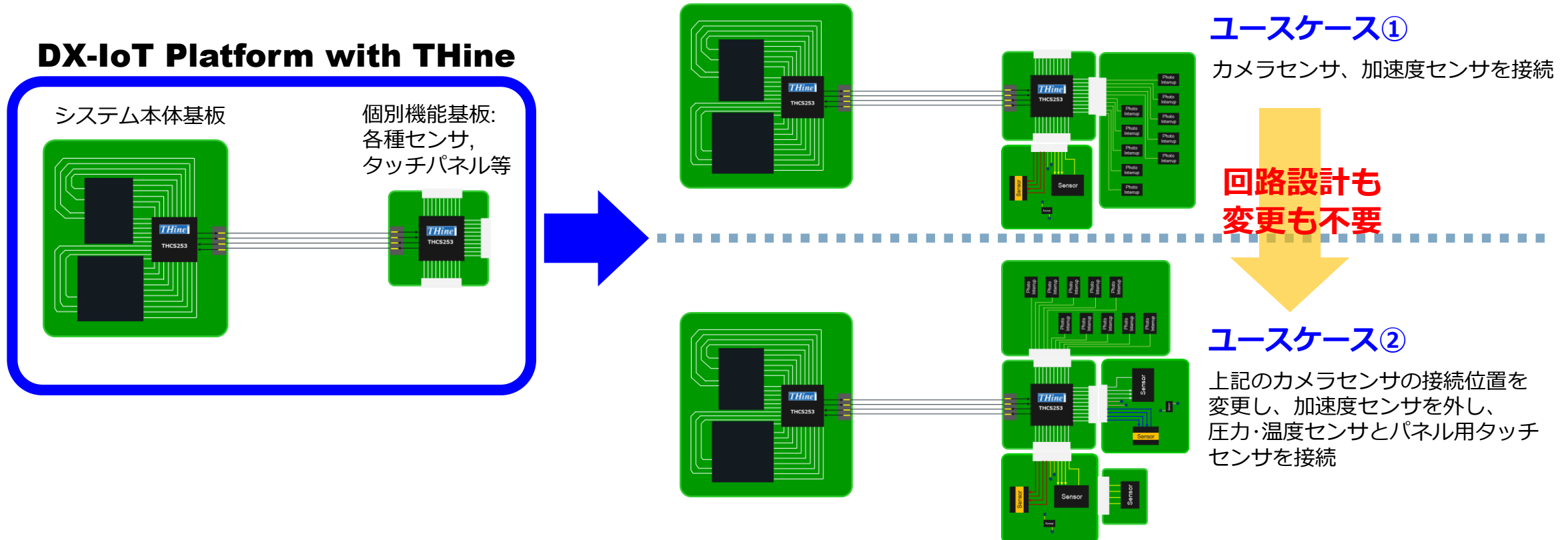


新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

- ▶ DX-IoTセンサー信号統合ソリューションに貢献

IOHA:B シリアル・トランシーバ新製品を量産開始

- 43億通りの接続に対応し、設計プラットフォーム化に貢献

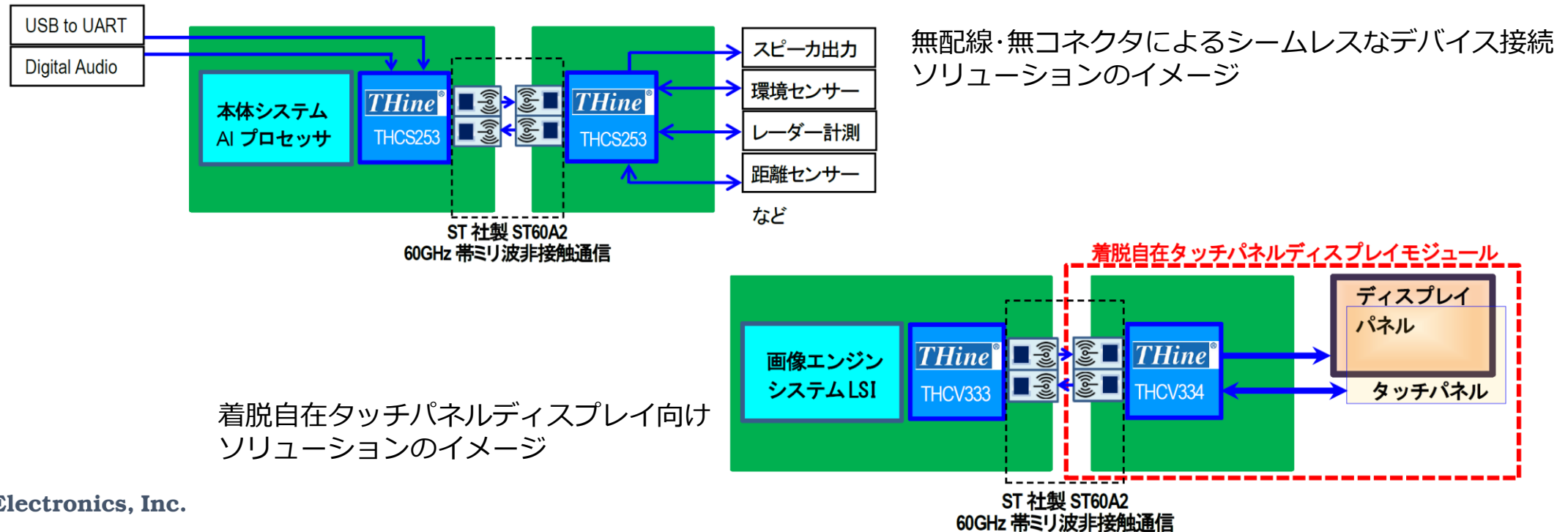


新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

▶ 非接触データ通信のユースケース進化への貢献

STマイクロエレクトロニクス社 (ST社) の高速近接無線技術とのコラボレーション

- 当社的高速情報伝送技術とST社の60GHz帯ミリ波を使用する高速近接無線技術と組み合わせることにより新たなユースケースの進化をサポート
- ST社の無線通信トランシーバ製品ST60A2にV-by-One®HSを始めとする当社情報伝送技術を適用し、高速伝送アプリケーションにおいて、基板対基板の非接触接続やコネクタ不要のソリューション等の新しいユースケースの実現が可能に。

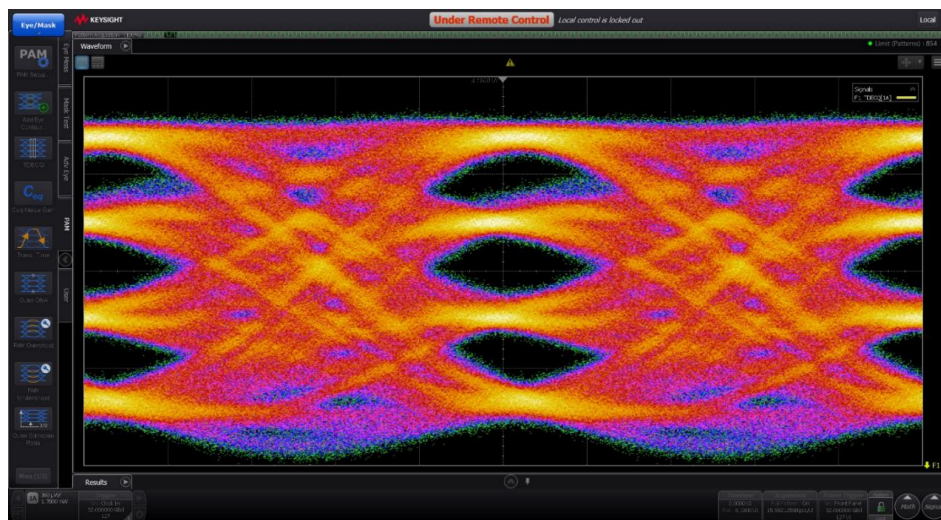


新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

▶ 生成AIで拡大するデータセンター消費電力削減等への貢献

世界初VCSEL対応デジタルシグナルプロセッサ不要(DSPレス)光半導体を開発、優れた特性を実現

- AI・機械学習向けサーバーネットワークで拡大が見込まれる次世代PCI Expressに対応
- データ送受信の**電力60%削減**、**遅延時間90%削減**、**AI処理速度向上**が期待される
- ヨーロッパ最大の光通信技術展ECOC2024に出展、優れた特性の実現に多くの称賛
- AI光コンピューティング光源 (VCSEL) に対して世界初の優れたパフォーマンスと信号品質を実現



弊社光半導体(DSPレスPAM4 64Gbpsドライバ)による優れた波形特性(優れたアイパターン開口)

ECOC2024における
デモンストレーション



新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ Beyond 5G・8Kソリューション、Beyond成長力の創出！

1000Gbpsを見据えた (5Gを遥かに超えるBeyond5G)、高速無線通信技術開発への取り組み

世界初のミックストシグナル広帯域ベースバンドによる超高速低消費電力20Gbps情報伝送技術

国立研究開発法人
情報通信
研究機構



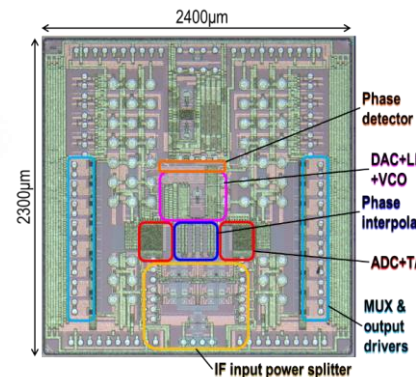
Ministry of Internal Affairs
and Communications

総務省

国立大学法人
広島大学

国立大学法人
名古屋工業大学

学校法人
東京理科大学



多くの分野への応用が期待

- 遠隔医療診断
- e-Sports
- 8K TV、等



新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

- ▶ 情報伝送技術の価値によりスマートに「つなぐ」+スマートに「判断する」

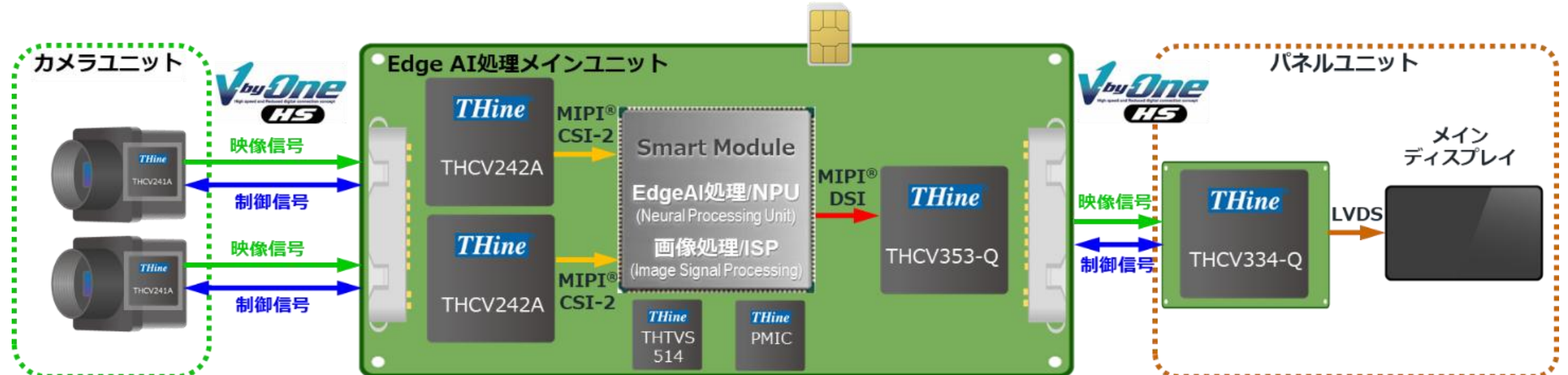
EdgeAI-Link[®]ワンストップ・ソリューション(クラウド連携可能エッジAIソリューション)

EdgeAI開発期間を抜本短縮、トータルコスト抑制に貢献

クラウド連携可能エッジAIのメリットを加え、コスト優位性、識別力を強化

- 3.5~12TOPSに対応
- 高速化ラインアップ拡充予定

顔認証、店舗マーケティング、防犯
 ドライブレコーダ等に適用可



新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

▶ 各種機器のIoT接続への貢献①

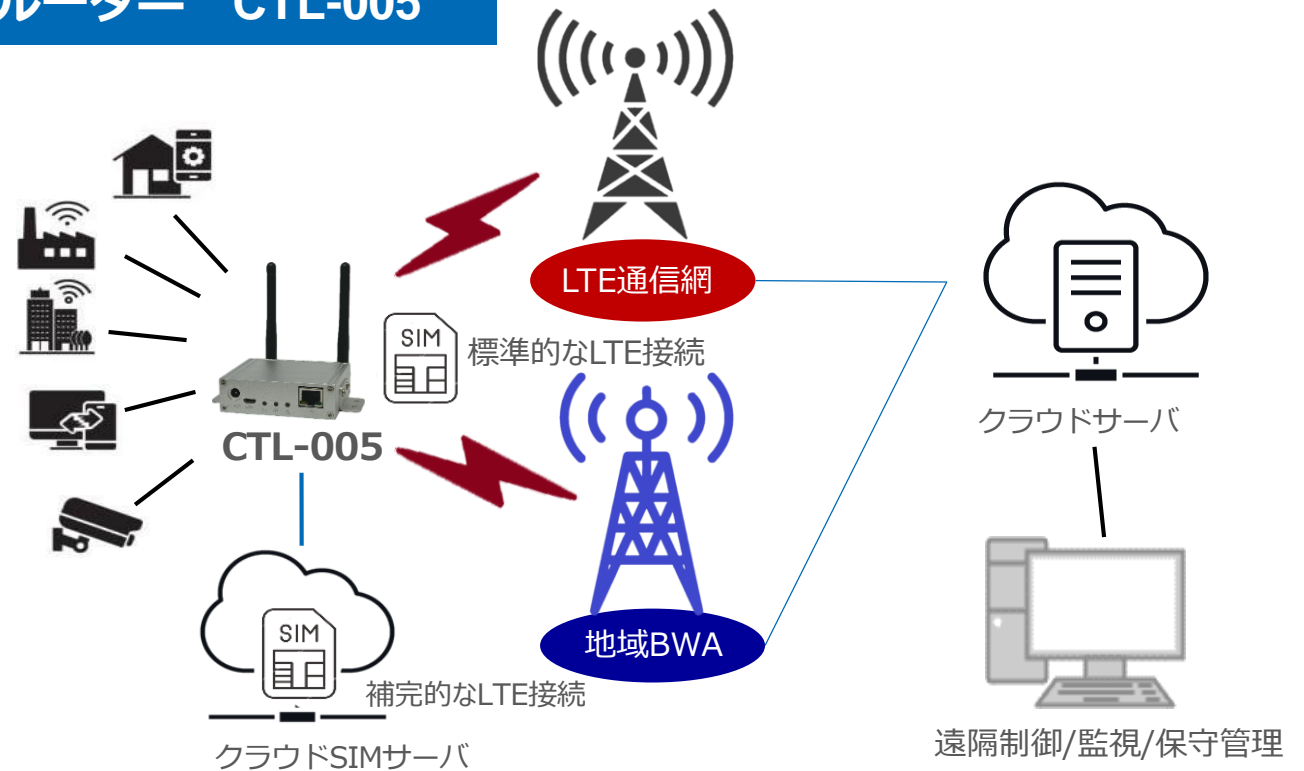
LTEモジュール内蔵産業用コンパクト型LTEルーター CTL-005



■ 製品の特徴

- 1) 国内通信キャリアNTTドコモ/KDDI/ソフトバンク/楽天モバイル*及びMVNOを利用可能 [SIM7600JC-HG搭載]
- 2) 地域BWA, プライベートLTE(自営BWA, sXGP) 適応可能
- 3) 通信ネットワーク障害に強いクラウドSIMを利用可能
- 4) 堅牢性/放熱性に優れるアルミニウム合金をケースに採用
- 5) 小型軽量設計: サイズ:80.2x68.8x28.7 mm 約108g
- 6) Web GUIによる簡単設定

*楽天モバイルは今後対応予定



クラウドSIM*対応:

SIMカード接続による通信網エラーが発生してもクラウドSIMに切り替えることによっていつでもバックアップ回線へ繋ぎ、ネットワーク接続を維持することができます。

*クラウドSIMは、サービス提供事業者との別途契約が必要です。

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 各種機器のIoT接続への貢献②

AIエッジ・コンピューティングボックス



■ 製品仕様

CPU Qualcomm Snapdragon QCS6490
Kryo™ CPU 6xx ,Octa-core,
1 x A78 @ 2.7GHz
3 x A78 @ 2.4GHz
4 x A55 @1.9 GHz

GPU Adreno 642

OS Ubuntu/Android

メモリー RAM: LPDDR4x/5, 8GB
ROM: UFS, 128GB
(カスタマイズ可)

通信機能 Wi-Fi:802.11ax, 2.4G/5G/6G
DBS, 2*2 MIMO
BT: 5.1

インターフェース USB-A 2.0: x1
USB-A 3.1: x4
USB-C 3.1: x1, DP over type-c
HDMI IN: x1, support I2S
HDMI_OUT : x1, support I2S
Ethernet: 100/1000 Mbps RJ45
WAN: x1
LAN: x3
Micro SD: x1
Antenna: 2 x Wi-Fi

電源電圧 DC.IN: 12V ~ 24V

使用温度 -20 °C ~ +60 °C (条件付き)

寸法 135 x 115 x 55mm

■ 製品特徴

AI処理能力と豊富なインターフェースを備えたエッジコンピューティングボックス

Qualcomm QCS6490搭載

- 高性能コア:複数のビッグコアを搭載。
- 省電力コア:軽負荷タスクに対応。

高速でスムーズな操作性

- 高性能コアにより、アプリ起動や複数タスクの切り替えがスムーズ。
- グラフィック負荷の高いゲームやAR/VRアプリケーションで快適な動作を実現。

マルチタスク対応

- 8コア構成により、多数のアプリやバックグラウンドタスクを同時に処理。
- 動画編集や大容量データ処理でも滞りなく動作。

高画像処理能力

- 4K動画や高解像度ストリーミングの視聴に最適化。
- 次世代コーデック(HEVCなど)への対応でデータ使用量を削減。

Ubuntu/Android に対応

WiFi6/6E利用可能 [IEEE802.11.ax]

- 最新のWi-Fiプロトコルに対応し、高速で安定した接続を提供
- 高帯域幅でのリアルタイム通信に最適

Bluetooth 5.1

- 低消費電力での高速データ通信をサポート

■ 利用シナリオ

- 産業用IoT: 物流仕分け、欠品検出、行動監視、構内セキュリティ、
- スマートシティ: 交通監視、街灯コントロール
- ヘルスケア:メディカルイメージング、自動車安全運転監視
- ロボティクス: 自律運転支援、農産物種子色彩選別、ロボットアーム

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ 各種機器のIoT接続への貢献③

ビデオコール端末 CTV-003



らくらく設置

かんたん設定

シンプル操作

■ 仕様/本体(スタンド付き)

通信方式	LTE(VoLTE)
ディスプレイ	8インチ WXGA
タッチパネル	静電式マルチタッチパネル
リモコン	特小無線
サイズ	235(W) x 195(H) x 65(D) mm
電源	AC100~240V
重量	0.9 kg
動作温度	0℃~40℃

■ 製品の特徴 (LTE回線網対応)

医療・福祉分野での利用シーンを想定した機能を搭載かんたんビデオコール端末
<タッチフォン>

- ◆ いつでもどこでもつながりあえる便利さ
 - ・ 外出先、遠隔地、LTE回線のビデオコールなら、いつでもどこでもつながります。
- ◆ 子供やお年寄りにもやさしい操作性
 - ・ タッチパネルでワンタッチ、
 - ・ リモコンでワンプッシュで誰にでもかんたん。
- ◆ 顔の見える安心コミュニケーション
 - ・ 表情はもちろん、手振りなど動きも見える安心が、生活のさまざまなシーンを支えます。

■ シンプルリモコン

赤外線に比べ壁や遮へい物の影番を受けにくい特定小電力無線を採用。

■ バッテリーを搭載

電源なしでも一定時間はビデオコール可能なので、急な停電時でも安心。

■ リダイヤル発信/自動着信機能

ビデオコールを自動で開始する「自動着信機能」や、相手と通信を開始するまで発信を繰り返す「リダイヤル発信」など、医療・福祉分野での利用シーンを想定した機能を搭載。

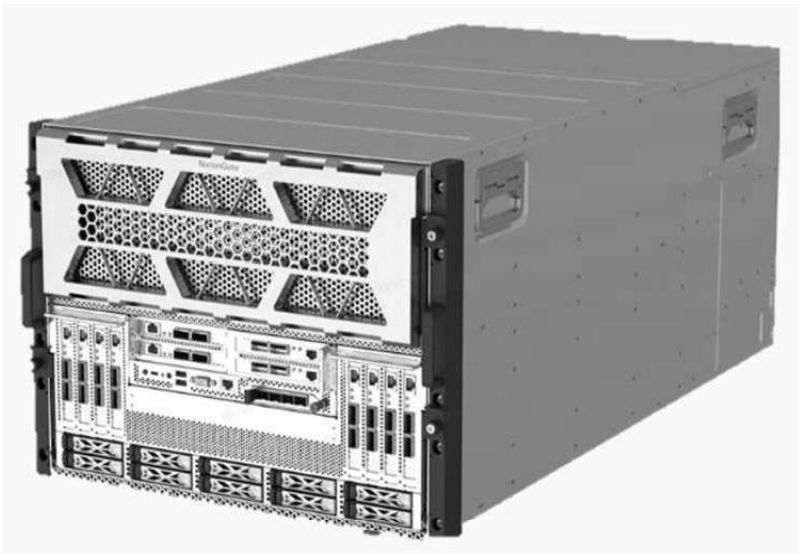
* 通常の電話機としても利用可能。

新中期経営戦略「Innovate100」(2025-2027)

- ▶ LSI, AIOTに次ぐ第3の事業の柱を確立、サーバー事業の立ち上げを加速

NVIDIA製最先端GPU搭載AIサーバー等の販売を開始

- 2024年6月、サーバー事業子会社「ザイン・ハイパーデータ株式会社」を設立
- AIOT事業との親和性を活用し、日系企業・研究機関に対してサーバー事業を通じてAI等計算資源の活用に貢献
- NVIDIA製GPU搭載のAIサーバーを含む各種サーバー機器の販売を開始



TA-8140 8U AI サーバー (2024年)
Nvidia H100/H200 HGX GPU搭載モデル

インテル第4世代/第5世代Xeon®スケーラブル・プロセッサを搭載した8U AIサーバーです。NV HGX GPUモジュールを搭載し、クラウドデータセンターとエンタープライズITの両方におけるハイパースケールのAIトレーニングとAI推論に高度に最適化されています



水冷 8U AI サーバー (2025年)
Nvidia B200 HGX GPU搭載モデル

新中期経営戦略「Innovate100」 (2025-2027)

▶ SDGs目標への貢献 (社会貢献)

Interface to the Future - Solution by Smart Connectivity -

スマートに「つなぐ」ことにより、地球的負荷削減への貢献を目指します。



- ✓ V-by-One[®] HS plus Standard提供を通じた高精細ディスプレイの省電力化などによるエネルギー削減への貢献
- ✓ 車載センサー画像のスマート伝送への貢献
- ✓ 高速伝送技術によるケーブル本数削減への貢献
- ✓ 電源システム熱効率改善によるエネルギーの削減への貢献
- ✓ AI・IoT技術による人的・物的移動エネルギーの削減への貢献

Interface to the Future

- Solution by Smart Connectivity -

URL <https://www.thine.co.jp/>

【お問合せ先】

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町9-1

総務部IR担当 (TEL: 03-5217-6660)

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断に基づき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。また、本資料に記載されている各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。